

事務事業	645606	非常備消防機械施設等整備事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	645620 消防団の充実強化	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	消防団車両			

事務事業目的	大震災に備え、地域の防災拠点である消防団車両の耐震化を計画的に進めるとともに、老朽化した消防団車両の更新整備を実施し、消防団の活動環境の整備を図り、消防力の充実強化を図ります。
事務事業内容	消防団の活動拠点としての消防団車両の耐震構造を図るため消防団施設整備計画に基づき、老朽化した施設から順次建て替え、地域防災力の充実強化を図ります。また、老朽化した消防ポンプ自動車を計画的に更新配備し、消防団の装備の強化充実を図ります。
実施形態	直営
成果指標	設定なし 令和元年度実績：
活動指標	（活動指標1）消防団車両の更新配備台数 令和元年度実績： 1台

事業コスト計算

事務事業費予算額	19,808,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.46 人
事務事業費決算額	19,712,000 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.48 人
予定値		確定値	
直接事業費	19,808,000 円	直接事業費	19,712,000 円
人件費	3,791,506 円	人件費	3,881,474 円
総額	23,599,506 円	総額	23,593,474 円

見直し実績	令和元年度は事業費に占める一般財源を抑えるため、国庫補助事業等を活用して消防車両更新事業を実施した。	
事務事業評価	内部要因 外部要因	行政との連携体制が確立された消防団が整備されており、女性消防団員の取組みも活性化している反面、消防団施設、車両、装備の老朽化に対する対応にコストや時間がかかり、また、消防団員が不足している。
	必要性	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律および狭山市消防団消防自動車等の更新計画に基づいて実施しており、社会経済情勢の変化の中でも事業の意義は失われていない。
	効率性	消防団・市・消防署が連携し、地域住民の生命・身体・財産を守るため、災害等に対応する役割は重要である。社会情勢の変化により消防団員の確保が難しい。また、コストや時間がかかることを理由に、施設や車両の更新が進んでいない地域が存在する。
	方向性	事業費に占める一般財源を抑えるため、引き続き国庫補助事業等に事業計画を位置づける。